

語彙の筋トレ⑥ 知らないことばの推測法

名前：

点数： / 6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール 入試本番で知らないことばに出会っても、あわてない。推測の三つの技：①漢字を分解する／②前後の文脈から働きをつかむ／③対比の相手から逆算する。語彙力とは、覚えた数＋推測する力。

① 「未知」ということば。

漢字を分解して、意味を推測しましょう。

② 「彼は寡黙な人で、会議でもほとんど発言しなかった。」

「寡黙」の意味を、文脈から推測しましょう。

③ 「都会の画一的な景色とちがい、この町の家々は色も形も実に多様だ。」

「画一的」の意味を、対比から推測しましょう。

④ 「不朽の名作」

「不朽」を漢字分解で推測しましょう。

⑤ 「祖父は温厚な人がらで、おこった顔を見たことがない。」

「温厚」の意味を推測し、使った技の番号（①～③）も答えましょう。

⑥ 知らないことばに出会ったときの三つの技を、すべて答えましょう。

（きょうのルールから）

- ① 「未だ知らず」→まだ知らないこと。

ポイント 技①漢字分解。「未・不・無・非」は打ち消しの合図。

- ② 口数が少ないこと。

ポイント 技②直後の「ほとんど発言しなかった」が説明になっている。

- ③ どれも同じで、変化がない様子。

ポイント 技③対比の相手「多様」から逆算する。

- ④ 朽ちない→いつまでも価値がなくならないこと。

- ⑤ おだやかでやさしい様子。技②（直後の説明）／①（漢字）でもよい。

- ⑥ ①漢字を分解する ②前後の文脈から働きをつかむ ③対比の相手から逆算する

うちの方・先生へ（丸つけの窓）

答えの語義が完全一致でなくても、三つの技のどれを使ったかを説明できていれば正解にしてください。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。（無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定）